

## No.3169

### みちのく三座ひとり旅

### 八甲田山、岩木山、早池峰山

実施日 2024年6月25(火)～28日(金)

天候 雨・風/曇りのち晴れ/晴

リーダー 宮崎 敏男

参加者 宮崎敏男 計1名

費用 J R 19,800円バス4,120円宿泊  
(3泊) 26,000円レンタカー6,  
820円 計55,740円

タイム 8/26 酸ヶ湯(6:05)毛無岱湿  
原経由・大岳避難小屋  
(8:40~9:15)大岳(9:3  
8~9:50)酸ヶ湯(12:0  
0)下山(12:30)送迎バ  
スで青森へ。弘前から  
岳温泉(泊)

8/27 八合目(9:00)岩木山  
(10:10~10:20)八合  
目(11:30)

8/28 盛岡・新幹線~新花巻(8  
:15・レンタカー)河原  
の駐車場坊(9:15)小田  
越登山口(9:50)早池峰  
山(12:20~13:00)小田  
越(14:45)河原の坊(15  
:10)新花巻(16:50)新  
幹線(17:18発)~帰京

八甲田山 6月26日(水)

酸ヶ湯温泉前泊(ひなびた湯治  
棟いい湯です)。

朝から雨・風で登山条件不良。  
ツアー、会山行は皆登山中止の  
ようで山中無人。

山行録 せっかくの毛無岱の高  
原湿原も雨風のなか足もとびじ  
ゃびじゃ景觀ゼロ。でも足もと



には高原の  
花。途中休憩  
もとれず大岳  
避難小屋に駆  
け込み防寒着

を着用おにぎりをほお張る。

テルモスのお茶が旨い。止まぬ  
風雨に意を決して大岳目指す。  
まだ残る雪渓約8~90mはストッ  
ク支持で通過。

樹林帯抜ければ風一段と強く身



をかがめて  
山頂到着。  
眺望望むべ  
くもなくそ  
こそこに下

山の途に。

途中仙人岱の湿地の雪解けに芽  
吹き開花する花々。なかに雛桜  
(ヒナザクラ) 白いサクラソウ  
の群生に出会えたのは僥倖とい  
うべきか。

岩木山 6月27日(水)

朝、岩木山はす  
っぱり雲のなか。  
おいおい今日は  
勘弁してよ。

山行録 昨日の  
悪天候山行では  
途中休憩もとれ



ず無人の山は熊出没情報にも気を張り、明日の早池峰と年齢も考え不本意ながらシャトルバスを選択。

岩木山神社からの登山道とも合流した9合目からは大岩ゴロゴロの登り。



おいらく山岳会の今日の15人は平均年齢82歳

とのこと岩肌に張り付き達者に登っている。雲も流れいつしか夏空、山頂からの眺望もこの上ない。

岩木山は少し離れて眺めるもよし、山頂から360度見渡すもよし。



明日の早池峰へ今日は盛岡へ新幹線時刻を気にして下山する。

早池峰山 6月28日(金)盛岡の宿から朝の岩手山がくっきり。

山行録 小田越のアオモリトドマツなどの樹林帯はあっという間に抜け、岩塊地帯の路をジグザグしながら早池峰のいただき目指す登山者は巡礼者の列のようだ。振り向けば薬師岳をはじめ雄大なイーハートーボの世界

が展がる。

5合目をすぎた辺りから早池峰の名を冠したウスユキ



ソウが現れ、写真に撮る手に足が滞る。季節が早いのか花芯の色やや淡くなおさら健気な趣だ。

へ々な一句「早池峰の神が降(くだ)さり薄雪草」



やがて頂上稜線が、鉄の大梯子が、剣

が峰分岐が、山頂避難小屋が現れ踏破したところが山頂だった。

岩手山、秋田駒、鳥海山も見渡すという眺望だが夏の水蒸気が山並み定かでなかった。小樽から来た単独、所沢から来た5人の会山行(酸ヶ湯、岩木山も一緒)とも談笑後、来た道を滑りやすい蛇紋岩に注意して一路下山した。



(記&写真・宮崎 敏男)

